

**首里城復元に向けた技術検討委員会 防災WG会議  
令和4年度の検討事項等について**

---

**沖縄総合事務局**

# 1. 令和4年度の検討・確認事項(案)

- 令和2年度に取りまとめた、「首里城正殿の防火対策」等を踏まえ、令和3年度は防災・防火設備や構造補強の見え方や納まり等の確認、防災・防火設備の具体の運用体制(復元工事中を含む)や防災センター機能の再編等を検討。
- 令和4年度からの正殿復元工事の工程に配慮しつつ、以下の内容について検討・確認する。

## ○国・県の連携

- 正殿工事期間中の防災・防火体制について、各火災段階での対策をハード・ソフト両面で詳細を検討。
- 沖縄県や消防等関係機関との連携のもと、沖縄県による管理体制構築検討の内容を踏まえた防災・防火設備の具体の運用体制や防災センター機能の再編等について、引き続き検討を実施。  
※なお、今後、県とも引き続き連携し、体制や運用との調整を図りながら具体的な防災・防火設備内容について検討を行う。

## ○両廊下

- 彩色・彫刻WGとも連携のうえ、整備すべき防災・防火対策の詳細検討を実施。

## ○各城門の自動解錠等

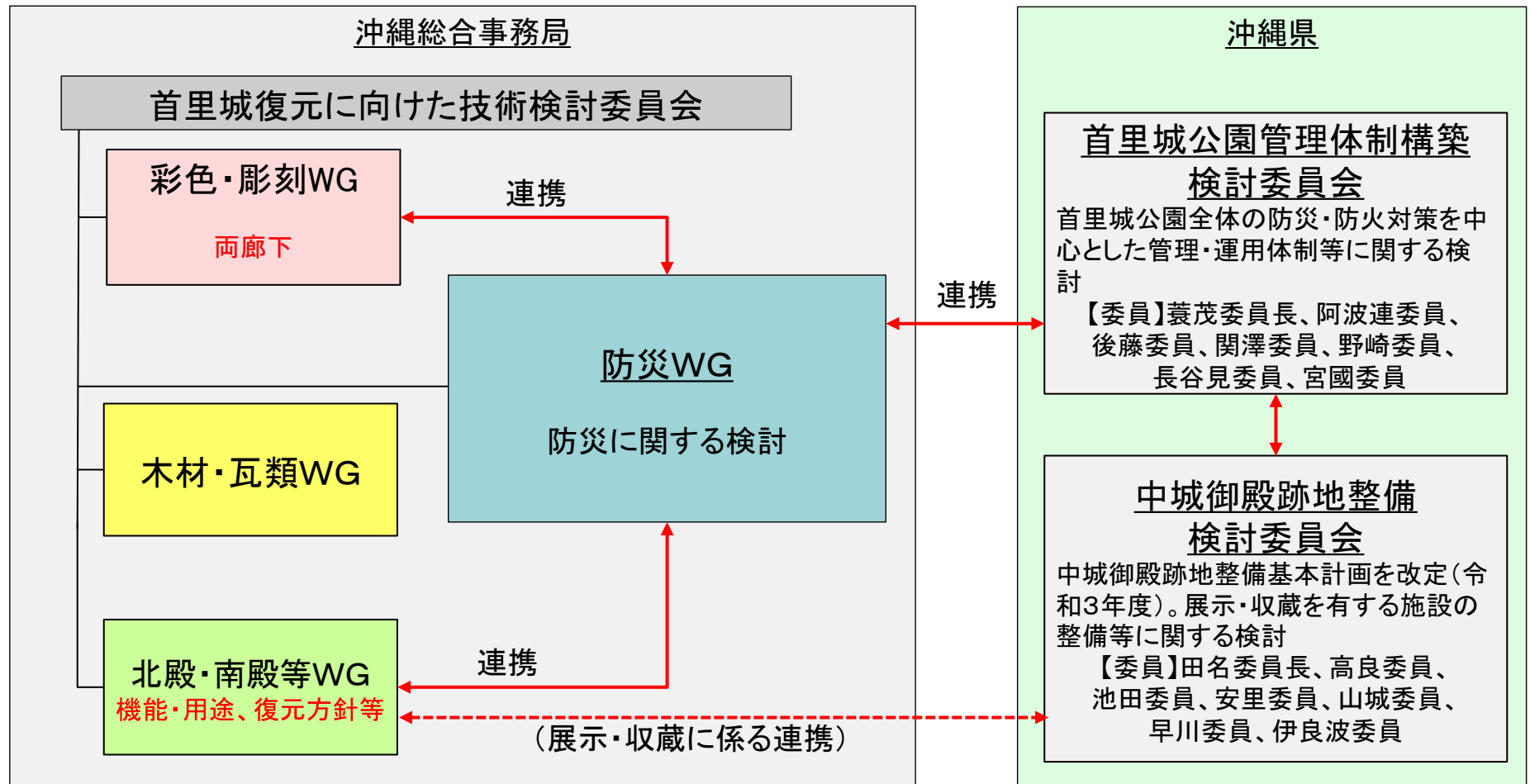
- 沖縄県や消防等関係機関との連携のもと、各城門の自動解錠の詳細検討を実施。
- 城郭内への緊急車両の進入に関する考え方を検討。

## ○北殿・南殿等

- 北殿・南殿等WGや県「中城御殿跡地整備検討委員会」での検討を踏まえ、今後復元予定の北殿・南殿等の防災・防火対策について新たに検討。

## 2. 本WGの検討体制

- 本WGでは、彩色・彫刻WG及び北殿・南殿等WGとも連携し、正殿復元及び北殿・南殿等の整備に関する防災・防火対策について検討する。
- 沖縄県や消防等関係機関との連携のもと、沖縄県による管理体制構築検討の内容を踏まえた防災・防火設備の具体の運用体制や防災センター機能の再編等について、引き続き検討する。



# 3. 防災WGに係る検討状況一覧

## 今回復元にあたっての検討の概要

検討項目	これまでの検討結果	令和4年度の検討方針	検討目途
正殿工事期間中の防災・防火対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事進捗に併せて変化する発災リスクに備えるべく、各火災段階での対策をハード・ソフト両面で検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の検討結果を踏まえ、各火災段階での対策をハード・ソフト両面で詳細を検討。</li> </ul>	令和4年度中
正殿完成後の防災・防火対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災センター機能の役割分担・連携について、沖縄県による城郭内の発災状況をシミュレーションを踏まえ、防災・防火設備のハード面の課題の有無や運用上の課題等を整理。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄県の管理体制構築検討の内容を踏まえた防災・防火設備の具体的な運用体制及び防災センター機能の再編等を検討。</li> </ul>	令和4年度中
両廊下	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな知見等を踏まえた彩色・彫刻WGでの検討内容を踏まえ、具体的な検討・設計を実施する方向性を確認。</li> <li>正殿両廊下の復元整備の考え方を検討。</li> <li>各火災段階等に応じた防火対策(案)を検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>彩色・彫刻WGで検討した復元方針(案)をもとに、具体的な防災・防火対策を検討。</li> </ul>	令和4年度中
城門の自動解錠等	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部に面する城門と、消火活動に関連すると想定される城門には、自動解錠システムを採用。</li> <li>正殿工事期間中(8年度まで)、正殿復元完成後(R8年度～)の各城門での対応を検討。</li> <li>火災受信機と連携した城門自動解錠システムイメージ(案)を検討。</li> <li>3タイプの施錠方法に応じた解錠方法を検討。</li> <li>城郭内への緊急車両の進入に対する現状・課題を整理。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動解錠システムに関する情報収集・整理にもとづく、具体的な自動解錠の方法を検討</li> <li>城郭内への緊急車両の進入に関する考え方を検討。</li> </ul>	令和4年度中
新設水槽	<p><b>【技術検討委員会で承認済】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>試掘調査により、旧地盤面(昭和63時点)下方に遺構等が確認されず、掘削が可能となることから、今回復元では景観に配慮し、地下式の防火・消火水槽を新たに整備する。</li> </ul>	—	—
北殿・南殿等	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>北殿・南殿WGで検討する復元方針を踏まえ、防災に関する方針を検討。</li> </ul>	(復元方針) 令和4年度中 (全体基本計画) 令和5年度中